

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 27 年 7 月 7 日	
所属部局・職	バイオインフォマティクスセンター・修士課程学生
氏名	吉川 元貴

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
屋久島
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
屋久島実習 キノコの調査
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
平成 27 年 5 月 23 日 ~ 平成 27 年 5 月 29 日 (7日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
京都大学
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
<p>今回の実習では、屋久島に生息するキノコの分布について調査をおこなった。実際にフィールドに出て、5箇所の地点(千尋、尾之間、白谷、淀川、ヤクスギランド)からキノコを採集し、同時に、GPS データも記録した。</p> <p>サンプルを収集した後、屋久島のさまざまな環境データをもとに、ソフトウェアを用いて解析をおこなった。その結果、地理的条件や気候条件とキノコの分布の関係を予測することができた。特に、キノコのいくつかの種については、分布確率を予測した地図を作成することができたため、採取範囲を広げるなど、更なる研究の方針を考える上で重要となるだろう。これらの研究結果は、ゲノム実習での結果とともに、国際セミナーでのポスター発表を行った。</p> <p>私はフィールド調査の経験がなかったため、今回のフィールド実習に参加して、フィールドに出て研究を行う面白さを実感した。また、採取したサンプルのデータを用いたさまざまな研究手法を新たに学ぶことができた。この機会を得て、学んだことをこれからの研究に生かしていこうと思う。</p>

図 キノコ
6. その他 (特記事項など)
今回の屋久島実習において、ご指導いただきました佐藤様、岩崎様、杉山様をはじめ、実習中お世話になった方々に深く感謝申し上げます。